平成29年度
次世代地域リーダー育成プログラム

上級段階科目
成果発表会

Center for Collaborative Study with Community

申込不要
入場無料

2018年 2月13日（火）

13:30～17:00（13:00～受付開始）

岐阜大学 全学共通教育棟 多目的ホール

岐阜県岐阜市柳戸 1-1

「次世代地域リーダー育成プログラム」とは、岐阜大学で展開する、学生が「地域（岐阜）を知り」、「地域（岐阜）の課題を見つけ」、「地域（岐阜）の課題解決に向けて行動する」人材となるための教育プログラムです。初級と上級に分かれ、初級をクリアしたと認められた学生が上級段階を受講します。

上級段階では実際の地域について、受講生がチームを組んで自分たちで考えた課題解決に取り組みます。今年度は６チーム３８人が取り組みました。

プログラム

13：30　開会挨拶・プログラム概要説明（益川浩一 地域協学センター長）
13：45　地域リーダーコース発表（4 チーム）
15：40　産業リーダーコース説明
15：45　産業リーダーコース発表（2 チーム）
16：35　産業リーダーコース講評
16：45　全体質疑
16：50　閉会挨拶（福士秀人　理事・副学長）

お問合わせ
CCSC 地域協学センター
Center for Collaborative Study with Community
TEL:058-293-3880
担当／助教　塚本明日香
[FAX] 058-293-3881
[E-Mail] ccsc@gifu-u.ac.jp
[URL] http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp

国立大学法人 岐阜大学 GIFU UNIVERSITY
文部科学省 地(知)の拠点

チーム紹介

● 地域リーダーコース

1 関チーム

関の刃物の魅力を一般の人に伝えることを目的とし、理容鋏と包丁の企業と協力し、長良川おんぱくのプログラムを共同で企画しました。11月3日に一日限りの体験プログラムを実施し、20人が参加しました。

2 中津川チーム

中津川市阿木地区は、子育て世代の移住者増加を求めており、サポートも手厚いが、情報が上手く発信できていないという点に注目しました。ヒアリング調査を実施し必要な情報を検討・収集しました。デザイナーのアドバイスも受けながらパンフレットを作成しました。

3 土岐チーム

土岐市高山地区の課題は若者の流出。高山地区の地域づくりに活かしてもらうために、若者の流出の原因や若者の土岐に対する印象に関するアンケート調査を実施し分析しました。さらに、流出した若者に将来子育て世代になった時に土岐に戻ってきてもらうために、子どもとその保護者を対象として、土岐が大好きであるという「土岐ラブ精神」を育むことを目的とした竹明かりづくりのイベントを実施しました。

4 郡上チーム

対象は旧大和町の母袋地域。様々なイベントで知名度を上げてきた地元では、現在方向性を定めるための将来ビジョンを作成中ですが、とにかく移住者は呼び込みたいところです。

移住の視点から見た母袋にはどんな魅力や課題があるのかを調べるため、UI ターン者 14 名へのインタビュー調査を実施しました。結果は 1/27 に報告書として提出し、それを題材にビジョン作成に向けた話し合いにも参加しました。

● 産業リーダーコース

5 サンクラフトチーム

包丁や家庭用調理器具などを製造・販売する関の企業です。3000 点以上の商品の中から、高速道路の SA で販売するのに適した「包丁」や「ポテトング」を対象とすることを企業の人と協議し、実際の販売方法について検討し、分析を重ねて提案しました。

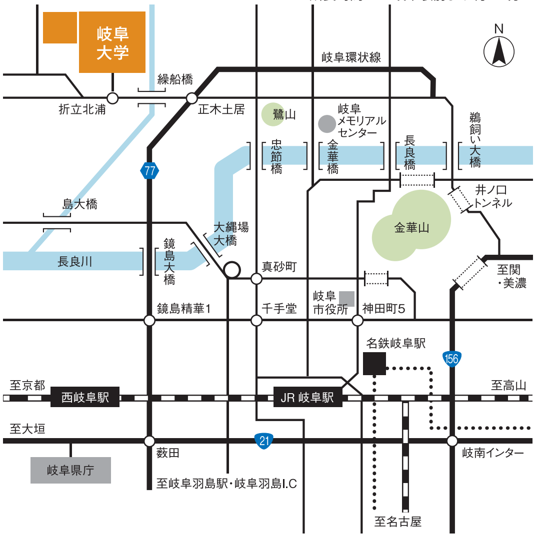
6 天領食品チーム

日本酒を製造する天領酒造の子会社で、今回は新製品のオリゴ糖を主とした甘酒の販売・プロモーション方法を検討し、提案しました。天領食品の工場を見学し、甘酒の特徴を理解した上で、商品の魅力を学生たちで考え提案しました。

会場案内

[岐阜大学までの案内図]

バスでのアクセス
・岐阜大学・病院線（バス系統C70）：所要時間約 40 分，320 円
・J 岐阜大学・病院線　清流ライナー（バス系統C71）：所要時間約 35 分，320 円
・岐阜大学・病院線　岐大ライナー直行便（バス系統C72）：所要時間約 30 分，320 円
・岐南町線（バス系統 N45）：所要時間約 40 分，320 円
タクシーでのアクセス
・所要時間：JR 岐阜駅前より約 20 分



[岐阜大学キャンパスマップ]